

少連協ニュース

○発行/足立区少年団体連合協議会 〒120-8510 東京都足立区中央本町 1-17-1 足立区役所青少年課 青少年育成係 TEL 03-3880-5275
○発行人/四宮淳司 ○編集/調査広報部 大関 川田 鈴木(春) 辻村 岩井 熊澤 仁科 常田 梅津



▲燃える！ジュニアリーダーの炎！（キャンプファイヤー）

目次

- 会長挨拶……………1
- 通常総会開催……………2
- 足立区教育長……………2
- 新任あいさつ……………3
- ビーチボールバレー大会……………4
- 育成者セミナー……………4
- 子ども会安全啓発
指導者講習会……………4
- ジュニアリーダー研修会……………5
- キャンプ……………6・7
- 地少協の活動……………8
- 編集後記……………8



令和6年度の総会において、2期目のご承認をいただきました。役員・常任理事、事業部、ジュニアリーダー、行政の皆様と共に足立区の子どもたちにより質の高い体験活動を提供できますよう頑張ってください。

新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行を受け、昨年より徐々に各地域の活動も回復の兆しが見えてまいりましたが、この数年間のブランクは、子どもたちにとっても、私たち育成者にとっても大きな影響を受けたことは言うまでもありません。

そのような中でも、昨年度は、関係各位の皆様のご協力で主要事業であるジュニアリーダー研修会（300名参加）、夏の宿泊キャンプ（6年生・中学生 御殿場にて160名で実施、秋の宿泊キャンプ（5年生 鋸南にて120名で実施）、ドッジビー大会と子どもたちに、貴重な活動の場を体験してもらったことができました。

また、今年度は、均衡のある体験活動を確保するためにキャンプへの参加費が例年の半額以下となり、ジュニアリーダー研修会300名参加、夏の宿泊キャンプ（6年生・中学生 御殿場にて180名で実施予定）と大きく参加者が増えています。各地域でも様々な行事が再開されることが予想されます。私たちも安全啓発活動に注力して、子どもたちが安全に体験活動に取り組めるように頑張っていきたいと思っております。

子どもたちのために
安全な体験活動の取り組み

足立区少年団体連合協議会 会長 四宮 淳司



新任役員 ごあいさつ

副会長 五十嵐 涉

溯江地少協では令和6年度までの6年間会長をさせて頂き、たくさん学ぶ事ができ、役員の皆様のおかげで頂きました。ありがとうございます。

副会長として、子どもたちの成長と安全を見守りながら資料作り・運営と役に立てるよう更に努力して参ります。分らない事もまだ有りますが、役員の皆様と団結し共々成長し、子どもたちが飛躍できるお手伝いをして参ります。どうぞよろしくお願ひいたします。

書記 一柳 勇太郎

区全体を見渡す大きな組織での役員は初めての経験となり、緊張しておりますが、四宮会長や先輩方に教えていただきながら、先ずは出来るところから着実に始めていきたいと思ひます。

そして近い将来に私たちのこの活動で「知ってる」ではなく「やったことがある!!」と、大きな声で答えられる子どもたちが一人でも多くなれば嬉しいです。皆さん、どうぞよろしくお願ひいたします。

総務部長 青井地少協会長

坂田 光穂

昨年まで事業部に所属して育成者セミナーやドッチビー大会の運営を

行ってきました。元々PTA会長時代から事業回しに慣れており、下支えの役目に向いてると思つていましたが、今年から新たに総務部になり、かつ部長という大役をいただき身の引き締まる思いです。ベテランの総務部のみなさまに助けてもらいながら、足立区少年団体連合協議会の円滑な運営と活動の充実を目指して参りますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

事業研修部長 中川地少協会長

井門 明洋

昨年度は書記として事業研修副部長をしておりましたが、今年度より部長となりました。

部の責任者として部員一同楽しみながら少連協を盛り上げていきたいと考えておりますので、よろしくお願ひいたします。

育成部長 第八地少協会長

熊谷 厚

今年度のキャンプについては、区の助成金が増えたことにより、参加費が前年度より安くなりました。その結果、ジュニアリーダー研修会の参加者も増加しました。この良い流れを継続していきたいと思ひます。

これからも少連協に携わられている皆様のお力添えをいただいで、事業を進めてまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。

会計監事 関 昭男

昨年度までは会計報告、監査報告を聞く立場にりましたが、今年度からは監査として帳簿類などを精査する立場に重責を感じております。不慣れではありますがよろしくお願ひいたします。

新任常任理事

ごあいさつ

第十三地少協会長 岩井 和美

育成会の会長を終えた後、地少協の役員に誘われ、楽しく活動が続けて来たその先に、会長というお役目を受ける日が来ると思ひもしませんでした。推薦してくださった前会長や役員の皆様、そして承認してくださった育成会の理事の皆様のご期待に応えられるよう頑張りたいと思つています。私たちにできることは多くはないけれど、地域での子どもたちの体験の機会を大切にしたい、そしてその活動を私たち大人も楽しみたいと思つています。少連協の皆様、ご指導のほど、よろしくお願ひいたします。

鹿浜地少協会長 津谷 孝一

会長を努めさせて頂いてから、少連協活動の凄さ、必要性が今まで以上にわかるようになりました。私も微力ながら各行事のお手伝いをさせて頂き、鹿浜地少協としても

各子ども会と連携を取りながら子どもたちの健全育成のため尽力させて頂きます。皆さん引き続きよろしくお願ひいたします。

花畑地少協会長 遠山 辰雄

関前会長から、花畑地少協の設立は昭和40年と伺いました。歴史ある花畑には大鷲神社や桜花亭など、多くの人が集まる施設があります。文教大学の開学もあって、様々なイベントに若い力を活かせるようにと三団体（花畑地区町会自治会連合会・花畑地区女性部連合会・青少年対策花畑地区委員会）の連携のもと取り組んでいます。経験も浅くご迷惑をおかけすることが多々あると思ひますが、皆様のお力をお借りして『地域の宝』である子どもたちの笑顔のために、微力を尽くして参ります。何卒宜しくお願い申し上げます。

溯江地少協会長 塩田 正明

定年後のボランティアとして、町内会、子ども会、地少協の副会長として10年余お手伝いをさせて頂きましたが、今年度からは、地少協の会長として協力させて頂く事となりました。青少年の健全育成との目的は皆同じと思ひますので、微力ながらお手伝いさせて頂きたいと思ひます。宜しくお願ひ致します。



青少年健全育成団体親睦 ビーチボールバレー大会

育成部長 熊谷 厚

6月2日に、第27回青少年健全育成団体親睦ソフトボール大会が開催予定でしたが、雨天のためビーチボールバレー大会となりました。

初戦は、青少年委員会チームにあたり、惜敗してしまいました。2戦目はいつもお世話になっていている青年課の職員も加わった教育委員会チームでした。白熱した試合でしたが、なんとか勝利しました。付度せずには申し訳ありません。青少年健全育成に関わる皆さんと、楽しく有意義な時間を過ごせました。



▲選手の皆さん



▲真剣勝負



育成者セミナー 全国子ども会 安全共済会 について

事業部長 井門 明洋

令和6年6月23日(日)午前10時から西新井ギャラクシティ3階にて開催されました。

今回はいつもの育成者セミナー講演とは異なり「全国子ども会安全共済会について」の説明会とし、講師は東京都子ども会連合会事務局の田中睦子様をお願いしました。

保険加入の目的は活動中に何か怪我等した際の保証になります。子どもたちは中学生までは医療費が無料ですが、育成者、保護者が怪我をした際には結構な費用が掛かる場合があります。

そのためにも育成者、保護者が保険に加入して安心して活動できるように保険加入の促進をお願いいたします。



▲講師の田中睦子様



▲セミナー参加者

簡単に全国子ども会安全共済会加入方法について列記します。

- 加入申込書などの用紙は「全国子ども会連合会」ホームページよりダウンロード
- 子ども及び大人の年会費@150円
- 0歳～3歳までの子ども会員は保護者1名の加入が条件
- 今後Web加入が可能
- 所属する地少協名を記入
- 記入は乳幼児・幼稚園児・小学生・中学生・高校生・育成者の順
- 年間行事計画提出
- 変更・行事の追加等の場合は前日までに修正変更のこと

保険に加入し安心して子ども会活動が出来るのが何よりと考えます。最後に今後とも子どもたちの笑顔が見られ、思いやりが育まれるような活動を心がけていきたいと思えます。

子ども会 安全啓発指導者 講習会

江北地少協 岩井 晴美

6月15日、国立オリンピック記念青少年総合センターにて、子ども会安全啓発初級講習会を受講しました。足立区からは、10名が受講し修了しました。

子ども会活動中の事故を未然に防ぎ、安全を確保するために、安全教育全般を学び指導技術を向上させることを目的とした講習会でした。安全教育の考え方・事故の原因と安全教育をもとにグループごとにディスカッションをして対策を発表するなど、色々な意見・実例を聞くことができ有意義な時間でした。



▲講習会受講者の様子

ジュニアリーダー 研修会

「学校に泊まろう会」
同時開催

第七地少協会長 川下 勝利

第七地少協は、6月15・16日に関原小学校でジュニアリーダー研修会を開催しました。小学校での開催は5年ぶりとなり、4～6年生の34名の参加児童が、計3回の研修に臨みました。参加者が多いと昼食や麦茶の準備など負担が増えるのですが、実際に研修を受けている姿を見ると、多くの仲間がいる事で楽しく体験できているように感じられます。特に、今年の参加児童は、ふざけてい



▲関原小学校で5年ぶりの開催



▲おいしいカレーできるかな!?



▲楽しい!すいか割り



る様子もなく、一生懸命に取り組んでいる姿を見ることができました。そして、この貴重な経験を多くの児童に体験してもらえらることを育成者の皆さんもとても喜んでくれています。

当地少協もジュニアリーダー研修会の参加者増の工夫を定例会で協議してきました。そして、学校の協力をいただき、現在のような「学校に泊まろう会」との同時開催形式を取ることにしました。子どもたちは、お米とカレー用の野菜を参加費代わりに持参してきます。特設のかまどを準備し、大きな鍋にカレーを作ります。スイカ割り、夜の学校探検などを楽しんだ後、体育館で就寝（ほぼ雑魚寝状態ですが）です。興奮からか、なかなか寝付けない子もいましたが、翌朝は生放送のラジオ体操から活動が始まり、朝食後に研修会に参加します。今回は、数年ぶりということもあり、泊まろう会の参加者数も従前の半分以下での開催となりました。

事前の打ち合わせ、費用捻出等大変なことも多くありますが、PTAの皆さんや多くの方の支えをいただき地少協としての活動が行われていきます。

新代表 あいさつ



▲キャンプでは、プログラムディレクターとして活躍の釉雪さん

ジュニアリーダークラブ代表 山口 釉雪ゆき

クラブの総会で今年度の運営が決定された時、昨年度の先輩とも比べてしまい、私に代表を務めるのか、みんなをまとめられるのか不安な気持ちでいっぱいでした。

しかし、運営が始まってからは「コミュニケーションをとること」「視野を広くすること」の2つを意識するようになりました。代表は大人の方々と私たち学生のジュニアリーダークラブを繋ぐ架け橋になる存在のため、話し合ったことを共有し、さらに深めるための報連相はとても重要な仕事になります。連携がとれて上下でも関わりを強くしていくことができれば円滑に活動が進んでいき、さらに良いクラブになっていくと思います。また、クラブでは子どもたちと関わる機会も多くあり、そのような時、何より安全を第一に考えなくてはなりません。代表としては広い視野が必要です。

現在、代表になって数ヶ月経ちましたが、報連相も遅れてしまい、自分のことで精一杯で、あまり周りを見えてない現状です。8月には私がプログラムディレクターを務める、御殿場でのキャンプも行われます。今何をすべきなのか、優先順位を考えて行動していきたいです。1年間の任期の中で少しでもクラブをいい方向に変えて行けるよう努力します。



▲全員集合！

8月10～12日の日程で、静岡県御殿場市にある国立中央青少年交流の家へキャンプに行きました。ジュニアリーダー研修会を受講した、小学6年生71名、中学生37名、中高生リーダー、大学、社会人リーダー、少連協スタッフ、看護師、足立区青少年課職員、合わせて59名、総勢167名の大所帯でした。



育成部長 熊谷 厚

キャンププログラムはテント設営、かまどで火起こしと食事作り、牛乳パックを使ったカートンドック作り、自衛隊滝ヶ原駐屯地への見学、非常食（ヒートパック）を食べる。フィールドゲーム、クラフト作り、キャンプファイヤーなどでした。

3日間、天候にも恵まれました。参加した研修生の子どもたちも、最初はおとなしかったですが、一緒に行動するなかで協力し合い、普段の生活では体験できない、貴重な時間を過ごすことができたと思います。指導してくれたリーダーたちのように、将来はリーダーとして参加してくれることを願っています。

私たちも一年前から日程を決めて、プロジェクト会議を何回も行い、実地踏査で現地を確認して、キャンプに行くことができました。プログラムに行くことができました。プログラムリーダーがプログラムを考えて、ユニットリーダー、班付きリーダーがそれを支えて、少連協スタッフが準備をして、現地ではみんな寝不足で頑張りました。

研修生、リーダーたちの頑張る姿を見て、それが私たちの活動を支えるエネルギーになっていきます。今回のキャンプをしつかり振り返り、これからも子どもたちの健全育成により良い活動ができるように頑張ります。



▲3日間ありがとう！テント撤収



▲作れないと食べられない



▲自衛隊の方々に真剣に質問



▲リーダーたち「バンデ！（絆）」

1日目

時間	プログラム
7:15	島根小学校集合
8:00	出発式
11:30	国立中央青少年交流の家 着 入所式 昼食
12:40	テント講習・設営 かまど講習
16:00	夕食作り（カレーライス）
19:00	入浴
20:00	フィールドゲーム 
20:45	係会議・班会議
21:30	就寝

2日目

時間	プログラム
6:30	起床
7:00	朝食
8:00	フィールドゲーム
10:30	自衛隊見学
12:00	昼食（自衛隊内にて）
13:30	フィールドゲーム
15:00	夕食作り（豚汁）
19:00	キャンプファイヤー
20:00	入浴 
21:00	係会議・班会議
21:30	就寝

3日目

時間	プログラム
6:30	起床
7:00	朝の集い
7:15	朝食作り（カートンドック）
9:00	テント撤収
11:00	フィールドゲーム
12:00	昼食
12:30	退所式
12:45	国立中央青少年交流の家 発
15:00	島根小学校着 解散式・解散

リーダーたちに聞きました！

- ① リーダーとして一番気をつけたことは？
- ② このキャンプで、一番嬉しかったことは？
- ③ 班のメンバーに一言

ユニットリーダー

- ① ・プロリが主体となるようサポートシディレクターがすぐ動け、プログラムが円滑に進むようにした。
・時間を守らせるようにした。 ・キャンパーの体調に気をつけた。
・参加者1人1人が笑顔で帰れますようにと全力で！ ・口を出し過ぎず、諦める所は諦める。
・少しでも皆が楽しめるように積極的に話しかけ、元気がない子がいないか周りを見守っていた。
- ② ・ファイヤーキーパーで前より少し成長できた。 ・キャンパーやリーダーたちから頼ってもらった。
・いつもと違う視点からのキャンプに参加できた。 ・色々な子どもたちと仲良くなれた。
・1日目は上手く火がつかなかったが、2日目では火がつき笑顔が見られて嬉しかった。
- ③ ・また、来年も待ってるよ。楽しい3日間になったね。

プログラムリーダー

- ① ・キャンパーが楽しめるか？ ・時間・指示的内容。 ・先を見て考えること。指示の出し方。
・時間を見て動く。プログラムを頭の中に入れるのが大変だった。 ・怪我をしないように注意した。
- ② ・どのプログラムもみんなが全力で参加してくれた。 ・プロリやユニットリーダーと連携できた。
・名前を覚えて呼んでくれるようになった。ファイヤーのゲームが盛り上がった。
・考えたプランをキャンパーが楽しんでくれた。 ・キャンプファイヤーで可愛いと言われた。
- ③ ・参加者のみんな！楽しんでくれてありがとう！また、会おうね！お疲れ様でした！
・時間がおした時、協力し始めてくれて、すごく頼もしかった。
・みんなの笑顔がたくさん見られて私も嬉しかった。
・楽しくプログラムが進められて、リーダーとしても楽しめた。
・みんなの成長を感じることができて嬉しかった。
・慣れないことだらけの中、楽しんでくれて、たくさん協力してくれてありがとう！



班付きリーダー

- ① キャンパーの安全、怪我防止。 ・とにかく全員楽しめるようにした。 ・班をまとめる。
・班員そろっているか確認する。 ・けが人を一人も出さない。 ・不機嫌にさせない。
・班員を悲しませない。 ・自分でやり過ぎない。 ・指示を伝え忘れない。しっかりプロリの話を聞く。
・口出しし過ぎず、声をかけたい時は、まず何をしているか見守る。
・キャンパーが間違ったことをしていたら注意する。 ・時間通りにプログラムが進むように動いた。
・キャンパーが安全に楽しめることを第一優先にし、多くのキャンパーと交流をする。
- ② ・班員と仲良くなれた。 ・班員全員団結力があがり、まとめやすかった。 ・リーダーとして頼られた。
・やりきった達成感を班員同士で共感し、頑張ろうと高めあっていた。 ・全てのご飯を1番で食べられた。
・みんなで作ったカレーが美味しかった。 ・班の子と仲良くなれた。
・班のみんなが「リーダーがユマでよかった」と言ってくれた。
・時間がたつにつれ、自分たちの良さを見つけ仲良くなれた。
・前回のキャンプで仲良くなったキャンパーが、今回もたくさん参加してくれた。
- ③ ・めちゃくちゃ楽しいキャンプだった！また、一緒にキャンプしたい！
・みんなと過ごせてとても楽しかったです！来年もまた会いたいな。
・初めてリーダーをやり、中々上手くいかないことがたくさんあったが、みんなが支えてくれたから、キャンプを楽しむことができた。 ・皆のおかげで楽しいキャンプに出来た！ありがとう！
・実力は十分あるので、メリハリを大切に！あとよく寝ること。 ・助けてくれてありがとう！大好き！
・初めてのキャンプでみんなと過ごせて良かったよ！ ・歩く時、2,3列にならず、1列になってほしい。
・ハプニングもたくさんあったけど、楽しい思い出もたくさんできた！
・とても忙しくて大変だったけど、みんなが指示を聞いてくれて偉かったです！よく頑張りました！
・今回のジュニアリーダーで学んだことを、これからの生活に活かしてください！
・いつでも笑顔が絶えない素敵な班でした！3日間を楽しいものにしてくれてありがとう！



ドキドキ体験ツアー 今こそ環境と防災を考えよう

保塚地少協会
辻村 宣明

2月25日、5年ぶりに開催することができた恒例のバスハイクは、有明にあるパナソニックセンターと、そなエリア東京へ行ってきました(小学生23人・中学生1人・大人18人)。



▲パナソニックセンター

そなエリア東京では、東京で巨大地震が起きた時、どうやって身を守るのか、どんな備えが必要になるのか。地震が起こった市街地をリアルに再現したセットの中を歩き、どこにどんな危険があるのか



▲そなエリアで防災を学ぶ

を、渡されたタブレットを使いながら、自分が出発するから学びました。モノづくりや、発想のヒントになりそうな映像や展示なども豊富で、実際に手を触れたり、動かしたりできる展示物や、工作体験もあり、低学年の児童から大人まで楽しめる施設でした。

今までは「ワーク体験ツアー」のタイトルでしたが、今回は「ドキドキ」としました。なぜか？それは今年サブテーマを「環境と防災」としたからでした。でも企画したのは昨年の秋頃で、その時は元日の「令和6年能登半島地震」が起こるとは夢にも思っていませんでした。今回この体験ツアーが、参加した方たちの意識に残り、少しでも万が一の備えになればと思います。

Activity 地少協の活動



▲チアリーディング



6月16日チャイルドタウン・スポーツフェスティバルを開催しました。このミニ運動会は、江南地区で過ごす子どもたちを対象としているものです。



▲競技の様子

前日からの雨も開会式前には、すっきりと晴れ上がり爽やかな青空が広がりました。ご来賓のあいさつ後、競技ルールと注意事項の説明があり、各種目が始まりました。障害物競争やボールをキャッチのほか、体育館ではボッチャ、魚釣り、チアリーディングの演技、サイクロンズによるダンスなども行われました。

競技に参加する子どもたちのほか、各種目の準備お手伝いを頑張る子どもも会ジュニアリーダー、中学生ボランティア保護者などの大人を含めて約200人が競技に参加しておかげさまで、たくさんの方にご協力をいただき、怪我や熱中症もなく無事に終えることができました。

チャイルドタウン・ スポーツフェスティバル

江南地少協会
田中 則聡

編集後記



少連協、各地少協の活動が、ほとんどコロナ禍前に戻りました。大人も子どもも笑顔あふれる行事が、盛り沢山です。御殿場のキャンプでは、ジュニアリーダーたちが、大いに活躍しました。お兄さんお姉さんの背中を見て、参加者の子どもたちが数年後には、ジュニアリーダーになってくれることでしょう。

これからも、読んだ方が一緒に活動したくなる紙面を目指して、作成していきます。72号を発行するにあたり、ご協力をいただいた皆様ありがとうございました。(川田)

